

東日本 大震災

救援・復興に 全力をあげます

3月11日午後2時46分、かつてない大地震と大津波、そして原発事故が日本をおそいました。日本共産党は、被災者のみなさんに心からお見舞いを申し上げます。戦後未曾有の大災害に際して、国民のみなさんと協力して、救援・復興に全力をつくします。

日本共産党

被災地にあらゆる支援を集中して



被災者へのお見舞い、安否確認、現地の実態、要求をつかみ、こたえる—日本共産党は、志位和夫委員長を本部長にした中央の対策本部、現地対策本部を設置してとりくんでいます。

全国規模での募金活動にも力をいれ、1億円以上(19日現在)集まった募金をただちに被災地に届けています。

原発事故

解決へ協力

きわめて深刻な東京電力・福島第一原発の事故。日本共産党は、原子力安全委員会をはじめ日本中のあらゆる知恵と力を総結集することを提起し、解決へ全面的に協力してきました。

「安全対策なおざり」の原子力行政が、今回の危機を生みました。安全をまもる規制機関を、原発推進の役所からきりはなし、独立・強化するなど「安全最優先」に転換すべきです。

「安全神話」と決別し、 全国の原発総点検を

個人補償の充実、コミュニティ再建へ

戦後最大の国難ともいえる大災害から復興するためには、国民的なエネルギーの発揮が必要です。

個人補償の抜本的充実、壊滅した

街とコミュニティ、地域産業の再建—

日本共産党は、思いきった「国家的プロジェクト」にとりくむことを提案します。

いっせい 地方選

私たちは「救援・復興選挙」と 位置づけてがんばります

日本共産党は、国難を打開して新しい日本社会をつくるための「救援・復興選挙」と位置づけてとりくみます。

住民の命とくらしをまもり、福祉を増進することが自治体の「原点」です。この本来の役割と、「災害から命をまもる」ことは一体不可分のものです。

「福祉の心」をもった自治体に

そのためには、耐震化などハード面の対策とともに、医療、介護、福祉、子育て支援の力強いネットワークがかかせません。日本共産党は、「福祉とくらしいちばんの自治体」づくりをめざして、がんばります。

